

平成28年度及び平成29年度
児童虐待防止啓発事業について

平成30年3月22日（木）

さいたま市社会福祉審議会

児童虐待検証専門分科会

1. 平成28, 29年度の実績

(1) 子ども虐待防止フォーラムの開催

深刻な社会問題となっている児童虐待に的確に対応するために、児童虐待の第一発見者となりうる幼稚園、保育園、小・中学校などの子育て支援関係者が、虐待予防への対応方法等を学ぶ機会を提供した。

ア. 平成28年度

開催日：平成28年11月10日（木）

場 所：市民会館うらわ

参加者：390名（民生委員児童委員協議会委員、市内小・中学校及び特別支援学校教諭、市内公立私立保育園保育士、幼稚園教諭、市保健福祉関係職員、一般市民等）

講 演：

テーマ 「虐待を受けた子どもの理解とその対応-児童自立支援施設での実践を踏まえて-」

講 師 大分大学福祉健康科学部教授 相澤 仁 氏

イ. 平成29年度

開催日：平成29年11月8日（水）

場 所：市民会館うらわ

参加者：374名（民生委員児童委員協議会委員、市内小・中学校及び特別支援学校教諭、市内公立私立保育園保育士、幼稚園教諭、市保健福祉関係職員、一般市民等）

講 演：

テーマ 「子ども虐待への具体的な対応について」

講 師 社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事 片倉 昭子 氏



▲当日の様子

(2) オレンジリボンキャンペーンの実施

子ども虐待防止に関する社会的な機運の醸成を図るため、児童虐待防止推進月間である11月を中心に、子ども虐待防止の象徴であるオレンジ色のリボンをシンボルに掲げる「オレンジリボンキャンペーン」を実施した。また、更なる機運の醸成を図るため、5月の一か月間にわたり「春のオレンジリボンキャンペーン」を実施した。

ア. 平成28年度

- ・JR大宮駅におけるデジタルサイネージ広告の放映
- ・ホットペッパーさいたま版11月号に啓発広告を掲載
- ・市全職員がオレンジリボンバッジを着用
- ・大宮駅西口駅前広場及びさいたまスーパーアリーナ広告掲示場への啓発用横断幕の掲出
- ・市・区役所庁舎への啓発用横断幕、懸垂幕の掲出
- ・図書館や公民館、保育園、幼稚園、小中学校、警察署などへの児童虐待防止啓発用ポスターの掲出、啓発用チラシの配布
- ・関係機関（区役所等）の窓口における啓発グッズの配布
- ・コミュニティバスへの啓発用バスマスクの掲出
- ・市報さいたま5月号及び11月号に児童虐待防止に関する記事を掲載
- ・駒場運動公園で開催されたランニングイベント「駒場ファンラン」におけるキャンペーンの実施
- ・市内商業施設コクーンシティにて市政情報を発信する「ヌゥひろば in コクーンシティ」にて、子ども虐待防止啓発グッズを配布



▲デジタルサイネージ広告



▲バスマスク

イ. 平成29年度

- ・JR埼京線におけるトレインチャンネル広告の放映
- ・市全職員がオレンジリボンバッジを着用
- ・大宮駅西口駅前広場及びさいたまスーパーアリーナ広告掲示場への啓発用横断幕の掲出
- ・市・区役所庁舎への啓発用横断幕、懸垂幕の掲出
- ・図書館や公民館、保育園、幼稚園、小中学校、警察署などへの児童虐待防止啓発用ポスターの掲出、啓発用チラシの配布
- ・関係機関（区役所等）の窓口における啓発グッズの配布
- ・コミュニティバスへの啓発用バスマスクの掲出
- ・市報さいたま5月号及び11月号に児童虐待防止に関する記事を掲載
- ・市内商業施設コクーンシティにて市政情報を発信する「ヌゥひろば in コクーンシティ」にて、子ども虐待防止啓発グッズを配布



▲トレインチャンネル広告



▲大宮駅西口駅前広場



▲市・区役所庁舎



▲ヌゥひろば in コクーンシティ

(3) 児童虐待防止キャンペーン「オレンジの絆」の展開

プロサッカークラブ「大宮アルディージャ」と連携・共同し、「オレンジの絆」と題した児童虐待防止キャンペーンを実施した。

ア. 平成28年度

- ・クラブの各種活動におけるオレンジリボンのPR
選手、スタッフ等によるオレンジリボンのPR
- ・大宮アルディージャのマスコット画像を利用した各種啓発事業の実施
さいたまスーパーアリーナ、大宮駅西口ペDESTリアンデッキへの啓発用横断幕の掲示等
- ・5月14日(日)及び10月21日(土)のホームゲームでの啓発活動
ウェットティッシュなどの啓発グッズを観戦者へ配布等
- ・大宮アルディージャ選手会等による、市内児童福祉施設入所児童等のホームゲームへの招待

イ. 平成29年度

- ・クラブの各種活動におけるオレンジリボンのPR
選手、スタッフ等によるオレンジリボンのPR
- ・大宮アルディージャのマスコット画像を利用した各種啓発事業の実施
さいたまスーパーアリーナ、大宮駅西口ペDESTリアンデッキへの啓発用横断幕の掲示等
- ・5月29日(日)及び10月22日(土)のホームゲームでの啓発活動
ウェットティッシュなどの啓発グッズを観戦者へ配布等
- ・大宮アルディージャ選手会等による、市内児童福祉施設入所児童等のホームゲームへの招待



▲ホームゲームにおける啓発グッズ配布の様子



▲啓発グッズ

2. 平成30年度の予定

(1) 子ども虐待防止フォーラムの開催

深刻な社会問題となっている児童虐待に的確に対応するために、児童虐待の第一発見者となりうる幼稚園、保育園、小・中学校などの子育て支援関係者が、虐待予防への対応方法等を学ぶ機会を提供する。

(2) オレンジリボンキャンペーンの実施

子ども虐待防止に関する社会的な機運の醸成を図るため、児童虐待防止推進月間である11月を中心に、子ども虐待防止の象徴であるオレンジ色のリボンをシンボルに掲げる「オレンジリボンキャンペーン」を実施する。また、更なる機運の醸成を図るため、5月の一か月間にわたり「春のオレンジリボンキャンペーン」を実施する。

(例)・市全職員がオレンジリボンバッジを着用

- ・市・区役所庁舎への啓発用横断幕、懸垂幕の掲出
- ・関係機関（区役所等）への児童虐待防止啓発用ポスターの掲出、啓発用チラシの配布
- ・広告媒体を活用した啓発活動の実施

(3) 児童虐待防止キャンペーン「オレンジの絆」の展開

注目度及び集客率の高いプロサッカークラブ「大宮アルディージャ」と連携・共同し、「オレンジの絆」と題した児童虐待防止キャンペーンを実施する。

(例)・5月及び11月のホームゲームにおける啓発グッズの配布

- ・マスコット画像を活用した啓発事業の実施

